

おのっこ ほたりん

児童数 11月4日 現在413名 校長 大住 奈留美



小野小マスクキャラクター「おのっこ ほたりん」



中学校に向けて～【平和】【自立】【絆】6年生修学旅行～

10月13日(木)～14日(金)の修学旅行。めあては【平和】・【自立】・【絆】です。快晴のもと、2台のバスで小野小を出発しました。

約2時間後の長崎市では、人災を学びました。平和祈念像の前で平和集会を開き、全校児童の祈りの象徴の千羽鶴を奉納しました。

フィールドワークでは、道に迷いながらも全グループ史跡周りを終えました。

ガイドさんのお話に感銘を受け、史跡の迫りに圧倒される一方で、仲間の健康状態を心配する等、「平和」と「絆(協力)」を実践的に学びました。

宿泊先のホテルシーサイド島原では、「自立」を意識しました。マナーを守ってホテルを利用する、小野小の顔としての行動を実践しました。子どもたちは行き届いた設備や食事のおいしさに興奮しつつも、他のお客様のことも考えて行動できました。

2日目は、自然災害の学習です。雲仙普賢岳の火砕流と土石流について学びました。「旧大野木場小学校」では、黒焦げになった校舎が火砕流の凄まじさに言葉を失いました。「水なし本陣ふかえ」では土石流に埋まった民家を見学し、「米多比川も時々あふれそうになるよね」と、身近な生活の危機管理に思いを巡らせていました。

その後、熊本県長州港へ渡り、「グリーンランド」に向かいました。ここでは、グループで「絆」

を大切にしながら楽しむことを意識しました。アトラクションの好み、順路など、事前の計画を遂行します。平日にもかかわらず、レストランに待ち時間が発生するほど混んでいましたが、上手く時間調整をして楽しむことができました。

実際のお土産よりも多くの実践や喜びを持ち帰って学校到着式を行いました。さすがに疲れたようでしたが、出発時とは違う自信や達成感を抱いていました。修学旅行の学びを13日(日)の野幸山幸おのまつりで学年発表します。

平和集会



班行動のフィールドワーク



ホテルの方に感謝の挨拶



民家を埋める土石流の凄まじさ



臨場感あるガイドさんのお話



旧大野木場小学校の痛ましさ



絆を確かめ合ったグリーンランド



学校到着式で「当たり前」に感謝



カラ 自己実現に向けて ム ~ルール<モラル~



6年生国語科説明文の単元では、「町の幸福論」という教材で学習しています。

先日、6年生がインタビューにきました。

「昨年、放課後の遊び方が問題(学校にゴミを散らかすこと)になって、学校を使うときは届け出をするルールができました。あのルール(決まり)はまだ生きていますか?薄れていますか?」と。確かに今も名簿に記入し、届けて遊んでいるようなので、ルール(決まり)は生きています。今、校内にゴミが散らかって問題になるようなことも少ないです。むしろ、ゴミ集め登校をする2年生児童に賛同して、他学年児童と一緒にゴミ集めをしたり、グラウンドのゴミを集めて職員室に持ってきたりするムーブメント(動き・流れ)が起こっています。これは、ルール(決まり)ではありません、モラル(道徳)です。みんなの中に、「ゴミは散らかさないんだ」というモラルが出来て、ムーブメントになっているから、ゴミは無くなっていると思います。「町の幸福論」=「私たちの暮らしの幸福論」として、ルールで動くのが幸福か、モラルで動くのが幸福か。インタビューの中で、そんな話になりました。するとその直後に、その6年生たちがゴミを集めてきました。こんなモラルのある児童たちが大人になって、ムーブメントを起こしてくれる町に暮らす……。幸せな未来です。

6年生に向けて～友・元・自・行 5年生宿泊学習～

10月26日(水)～27日(木)の5年生の宿泊学習、スローガンは「友元自行(ゆうげんじっこう)」

- ・「友」だち関係を良くする
- ・「元」気に過ごす
- ・「自」分で考える
- ・キビキビ「行」動

研修先の「玄海の家」の職員の方に、事前授業を行っていただくなど、一ヶ月程前から準備を進め、2日間でスコアオリエンテーリング、カレー作り、キャンプファイヤー、ピザ作りなど、様々な体験活動を行いました。その中で「友」だちと協力し「元」

<p>関係を創るフィールドワーク</p> 	<p>煙に耐えて貢献する</p> 	<p>炎を囲み、「道具」を使う心を問い直す</p> 
<p>振り返り、課題を明らかにする</p> 	<p>自分で考えて できることはやる</p> 	<p>「習慣は人格になる」 さらに友元自行しながら、今後に生かす</p> 

気に活動し、「自」分で考えた行動し、時間を守ってキビキビ「行」動する姿が随所で見られました。一つひとつの活動が終わると、振り返りを行い、できたことや課題と向き合い、次の活動にチャレンジしました。集団で公共施設に宿泊するのも初めての体験で、社会でのマナーなどについても学ぶことができました。

到着式でピザやカレーの味を問うと一様に「美味しかった!」との答え。「レストランのカレーやピザの方が美味しくないですか?」と問うと、一斉に「自分たちで作ったから」「みんなで協力したから」「あきらめずに頑張ったから」と、次々に美味しい理由を挙げました。きっとこれが宿泊学習の宝でしょう。「宿泊学習はこれで終わりではありません」と校長の言葉もありました。得たものをどのように学校生活や日常生活で生かしていくか、新たなスタートです。今後も続く「友・元・自・行」のその先には、「小野小最高学年の6年生」という未来像が待っています。

創立150周年記念行事に向けて～実行委員会発足～

11月2日、来年度の小野小学校創立150周年記念行事に向けて、実行委員会が発足しました。この日は翌3日の駅伝大会の直前という大変お忙しい中、小野校区運営協議会の方を中心に、多くの地域の皆様にご参集いただきました。

まず、準備委員会の代表の前PTCA会長から、主旨や経緯、組織についての説明があり、承認の上で、正式に実行委員の発足となりました。

実行委員会会長には校区運営協議会会長様を迎え、3部会「記念誌編集部」「記念式典部」「記念事業部」の部長・副部長等も、校区運營業議会の方々にも担っていただきました。また、校区見守り隊様、安全協会様、区長様、歴代PTCA様、歴代校長にも、顧問としてお立ちいただくとともに、外部のプロやセミプロにも協力依頼をしております。

これからさらに、各々のネットワークで部員やボランティアを増やしていくことも確認しました。今回は、150周年に向けた「チームおの」の、`先駆け、の誕生です。

早速、部会の協議も行い、メンバーの確認と今後の方針、懸念事項や夢や可能性についても話し合いました。発足したばかりでしたが、それぞれの知見が交差して、創立150周年記念行事に向けて明るく前向きな大きな一歩を歩み出した会でした。大変感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



11月

- 2日(水) 委員会活動
- 5日(土) PTCA 除草作業(予備日6日)
- 13日(日) 野幸山幸おのまつり(おにぎり弁当) ※12:00下校
- 14日(月) 振替休日
- 18日(金) 秋の遠足(弁当)
- 21日(火) たてわりそうじ週間
- 24日(木) クラブ活動
- 28日(月) 持久走練習開始
- 29日(火) 第45回福岡地区小学校特別活動研究大会(糟屋大会) 会場校 ※特別時制

12月

- 4日(日) いのち輝くまち☆こが ※小野小児童: 作文発表・放送
- 5日(月)～7日(水) 個人懇談 40分授業
- 17日(土) 持久走記録会
- 23日(金) 17日振替休日
- 24日(土)～1月4日(水) 冬休み

～お願い～①お子様の遅刻に際しては学校までお送りいただいておりますが、「今、送りました」といった連絡をしていただきますと、助かります。移動教室をしている場合は、学校の構造上、「遅れて来て一人教室の居て気づかれない」といったことが生じる場合があります。児童にも職員室へ挨拶をするように伝えていきます。よろしくお願いいたします。②放課後小野小においてバット等を使用する場合、保護者同伴でお願いします。